（第３種郵便物認可）

ハチがランナー襲撃

コースわきに巣 30人けが、病院に

草木湖マラソン

二十三日午前十一時半ごろ、勢多・裏村原間の同村総合運動公園を発着点に行われた第二十回草木湖一周マラソンで、十二㌔コースを走っていたランナー約三十人がキイロスズメバチの大群に次々と襲われ、顔や頭などを刺され重傷を負った。刺されたランナーは、救急車や村役場の関係車両で大間々町内の病院に運ばれ手当てを受けたが、いずれも命に別状はない模様。同大会に参加していた、大会本部となった同運動公園管理棟は、黒わめくスズメバチの襲撃に一時、混乱した。

スズメバチの襲撃があったマラソンコース。橋の左手下部に巣がある

同大会事務局などによると、スズメバチによる襲撃事故が起こったのは、午前十一時半ごろ。五分前に現場を先に通過した「一般の部（会長杯）」（五㌔コース）のランナーが、スズメバチに襲われ、刺されたり追いかけられたりしてけがをしたという。スズメバチの刺傷事故の中でもこの種類によるものが最も多く、全国各地の丘陵などに生息。ランナーが大声を出したり、黄色い服装をしていたりすると、体は黒色で攻撃性が強く、巣の付近を通過しただけでも襲ってくる